

令和3年10月(第7回)理事会概要

日本ボーイスカウト千葉県連盟
事務局

〔伝達〕

1. 団委員上級訓練修了証(団委員実修所修了)
 - ・伊藤 進 (我孫子 第2 団)
2. ウッドバッジ(WB)ビーズの伝達(WB実修所カブ課程修了)
 - ・来栖 静子 (旭 第1 団)
 - ・金谷 紫之 (松戸 第10 団)

〔審議事項・承認事項〕

1. 第25回世界ジャンボリー(25WSJ)参加事前調査について 《承認》
2023年8月に韓国で開催予定の25WSJの事前調査として、日本連盟より各県連盟に参加希望人数の提出を求められているとの説明があり、2隊で回答することとした。
2. 令和3年度安全推進フォーラムの開催中止について 《承認》
11月22日に開催予定とされていた安全推進フォーラムについて、コロナ禍による諸事業延期他の状況を勘案の上、今年度は開催を中止することが承認された。
3. 地区再編の検討スケジュール及び検討方針について 《承認》
 - ・千葉県連盟の地区再編検討スケジュール及び検討方針について以下の提案があり、承認された。
 - 新地区体制を令和5年度に開始させる。
 - 新地区体制へスムーズに移行するため、令和4年度を新地区設立準備期間とする。
 - 新地区体制の区割りや移行における課題の解決について、地区代表理事も推進者の一人として一体となって進める。そのため、地区代表理事会(臨時開催を含む)を毎月開催し、ともに議論しながら進める。
4. 日本連盟維持会費の千葉県連盟目標達成のために必要な措置の検討について 《承認》
今年度維持会費について、現在までの寄付金額と目標額に大きな乖離のあることが報告され、目標達成のために、書面での協力依頼や、地区ごとの個別フォロー等、必要な措置を検討し実施することとした。

〔報告事項〕

1. 加盟登録について
令和3年9月末登録状況
・4,397人/88団、前年同月比 -243人、前年度末比 -341人
2. 委員会報告
 - (1) スカウト支援委員会
 - ① スカウト章認証について
 - 1) ・菊スカウト章: 嶋田 悠人(流山3)、佐野 碧(流山3)
 - ・隼スカウト章: なし
 - ・富士スカウト章: なし

- ②第 10 回アジア太平洋地域(APR)スカウトユースフォーラムの参加申込みについて
 - ・RS または同年代の指導者を対象に 2022 年 2 月 9 日(水)～2 月 13 日(日)にオンラインで開催予定で、参加者を募集している。
- ③富士特別野営 2021 (2022 年 3 月 26 日～31 日) の参加者追加募集について
 - ・来年 3 月に開催延期に伴い、参加者の追加募集を行う。
- ④JOTA-JOTI2021 (10 月 15 日～17 日) について
 - ・県連盟特設会場 (10 月 16～17 日、市原市青少年会館) 開設案内等第 3 報を配信した。免許がないスカウトも交信できる『特別臨時局』も開設する。

(2) 指導者支援委員会

- ①令和 3 年度指導者支援委員会事業予定および変更について
 - ・9 月以降の予定変更を反映し指導者養成訓練計画表を 10.03 版に更新した。
 - ・WB 研修所スカウトコースは千葉第 10 期と第 11 期を併催する。
- ②令和 4 度事業計画について
 - ・今年度延期となった WB 実修所 BS 課程は、来年度改めて開設申請する。
 - ・各地区・ブロック主催事業は 11 月の委員会に開催案を提出いただくので検討願いたい。
- ③講習・研修等の開催案内を見直しており、今後は、申込方法はメール添付に統一する。

(3) 運動拡充委員会

- ①「WEB で団委員会」勉強会 (8 月 28 日、オンライン開催) 開催報告
 - ・参加者 24 名、スタッフ 5 名で、WEB 会議システムの主催方法に関する勉強会開催。質疑応答、資料問合わせ、個別質問があり、ニーズがあることが確認できた。
- ②スカウト運動活性化セミナー (9 月 5 日、オンライン開催) 報告
 - ・参加者 117 名、講師・スタッフ 4 名で開催。
 - ・内容は「ワクワク自然体験活動の実践例からそのヒントを得る」「スカウト倍増！人が集まるチラシ制作術」等。
 - ・グループディスカッションで、すぐ取り組むべきことについて議論。参加者が自団・隊でのアクションプラン制定に向けた説明がなされた。
- ③団情報ページの活用について
 - ・日本連盟への問合わせ件数 (6 月 15 件、7 月 15 件、8 月 2 件、9 月 27 件) からも非常に効果があるものである。
 - ・未登録の団へは、今後地区コミッショナーと委員会と一緒に支援していく。

(4) 総務委員会

- ①県連盟年次総会の開催場所について
 - ・来年度 (2022 年) については、従来通り、担当地区 (印旛地区) にて会場を確保する

(5) セーフ・フロム・ハーム委員会

- ①令和 3 年度セーフ・フロム・ハームセミナー開催予定
 - ・各地区の開催予定を集計したので、計画表を配布した。

(6) 千葉県ローバース会議 (CRC)

- ①今まで交流が主であったので、ローバースとは何か、目指すべき方向は何かを議論した。

- 3. ワクワク自然体験活動協議会からの寄付金の処置について 《承認》
片平理事長より、ワクワク自然体験活動協議会からの**寄付金 (*)** について説明があり、その処理については一般会計とは別に、都度理事会の了解を得て運動拡充関連事業へ支出していくこととした。

- (*) 令和 2 年度文部科学省委託事業「ボーイスカウトと遊ぼう！ワクワク自然体験遊び」を実施した「千葉県子ども自然体験活動推進協議会」に対しボーイスカウト日本連盟から支給された協議会管理費を同協議会の解散に伴い県連盟に寄付されたもの

4. 県連盟コミッショナー報告

- ①新型コロナウイルス感染拡大に関する第19報の発出について（2021年9月30日）
 - ・緊急事態宣言解除に伴い、県連盟コミッショナーから地区コミッショナー経由で発信。
- ②Earth Tribe 導入説明会（9月19日、オンライン開催）実施報告
 - ・出席者：第1回 109名、第2回 76名、計185名。日本連盟プログラム委員 3名
 - ・新環境プログラム Earth Tribe の概要に加えて、日頃のプログラムで取組み出来ることの理解につながった。
- ③スカウトハンドブック活用セミナー（9月20日、オンライン開催）開催報告
 - ・出席者：第1回 108名、第2回 66名、計174名
 - ・ハンドブックの編纂のコンセプトを知り、隊活動で活用していくかについて理解を深めることができた。班制教育、進歩制度につなげることが出来た成果は大きい。ハンドブック（アドバンス）から、VSの活動の本質について説明頂けたことは、同部門の活性化につながると思量する。
- ④セミナー企画について
 - ・開催予定日：2021年11月14日（日）2時間程度 オンライン会議
- ⑤令和3年度県連盟コミッショナー会議（9月12日、オンライン開催）開催報告
 - ・出席者：地区コミッショナー・団担当コミッショナー・地区副コミッショナー：47名（欠席1人）、県連盟コミッショナーグループ：4名、合計51名
 - ・伝達事項：全国コミッショナー会議、コミッショナーベーシックトレーニング、新型コロナウイルス感染拡大防止対応、等
 - ・コミッショナー活動方針：各団への継続的支援、隊・団指導者の質の向上、ラウンドテーブルの活性化、ローバースカウト活動への支援

5. その他

- ①事務局からのお知らせ
 - ・配布文書について：文書配信依頼における個人情報保護に関する注意喚起
 - ・上半期予算執行状況
 - ・「赤い羽根共同募金」への協力のお願い
 - ・難民支援衣料回収プロジェクトについて周知依頼
 - ・千葉県連盟維持財団会費への協力依頼

以上